

第 24 回戸田ロングレース 適用ルール 2024.2.24

戸田ロングレースは、種目別のコース往復計 3,000m の所要タイムを競うタイムレースです。
日本ボート協会競漕規則での運営ができませんので、このレースにのみ適用される独自ルールを制定します。
詳細は以下の通りです。

- スタートは早稲田艇庫前とする。発艇旗の合図によりスタートし、2,000m 地点（通常レースのゴール地点）通過時に計時を開始する。
- ゴールは 2,000m 地点（同上）とし、音（ブザー）による合図をもって全距離を漕了したものとす。
- 往路は 2,000m～500m までの 1,500m とす。
- 復路は 500m～2,000m までの 1,500m とす。
- 成績は種目別に上記往路・復路の合計タイムの最速クルーを優勝とする。
- 往路・復路共指定されたレーンを進行すること。
- 競漕中、後発クルーに追いつかれたクルーは、速やかにレーンを譲ること。その後指定されたレーンに戻ることを原則とする。
- 500m 地点でのターンは必ずブイ（黄色の大型ブイ）を回ることとする。
- 500m 地点での T U R N に要する時間は 120 秒以内とし、120 秒を超えた時間は合計タイムに加算する。
- 男女混成クルー種目は、漕手の半数以上が女性であれば出漕可とする。
- 全種目の C O X の性別と年齢は自由とする。
- 3,000m の競漕中は、基本的に日本ボート協会競漕規則を適用する。

【レース運営方法】

- スタートは 9:00・10:00・11:00・12:00 の 4 回に分けて行う。
- 各艇の発艇間隔は 20 秒間隔とし、プレート No.順に発艇する。（8+その他で 20 秒以上間隔をあけてあるところもある）
- 参加各艇はスタート時間 5 分前までに早稲田艇庫前水域にプレート順に集合すること。
- 早稲田艇庫前より発艇員の合図（プレスタート）で漕ぎ出し、2,000m 地点通過時をもって正式スタートとする。
- 指定レーンは往路 3 レーン・復路 5 レーンとする。後発クルーに追いつかれた場合、往路は 2 レーンに復路は 6 レーンに待避すること。
（3 艇以上が近接した場合に、往路は 1 レーン、復路は回漕レーンに退避することを認める。）
- 500m 地点の往路ゴール並びに復路スタートは 500m ライン上の審判が判定する。

【注意点】

- 競漕中の追い越しは、追い越されるクルーが自発的に待避することを期待する。但し、審判員より待避指示が出た場合は速やかに待避し、その後指定レーンに戻ること。
- 万一、沈があった場合には、タイムレース中といえども人命優先の立場から審判員の指示に従うこと。
- T U R N 地点が混雑した場合には、審判員の指示に従うこと。混雑により 120 秒以上の時間を要した場合には審判員が判断する。
- レース終了後のクールダウンは禁止する。但し、各スタートタイムに発艇した全艇がゴールした後はこの限りではない。
- 基本的に伴走を認めるが、往復レースなので各自の責任で事故防止に努めること。
特に 500m 地点のフェンスより 0m 方向への立ち入りを禁止する。